

# みんなのねんきん

## 20歳になったら国民年金

国民年金は、年を取ったときや病気、けがで障がいが残ったときなど、いざという時の生活を現役世代みんなで支えようという考えで作られた仕組みです。

20歳以上60歳未満の日本国内に住んでいる人は、国民年金に加入することが義務付けられています。

20歳になった人には国民年金加入のお知らせ、保険料の納付書が送られてきます。保険料を納めることが経済的に困難な場合には、保険料免除・納付猶予制度があります。また、前年所得が基準以下の学生を対象とした、保険料納付が猶予される学生納付特例制度があります。保険料を未納のままにした場合、障害基礎年金や老後の年金が受け取れなくなる場合があります。

なお、20歳になった時点で厚生年金保険に加入している人、加入している人に扶養されている配偶者は、国民年金加入の手続きは不要です。

▷問い合わせ 保険年金係 (☎223-3532)

## 「公的年金等の源泉徴収票」が送られます

令和6年中に老齢または退職を支給事由とする年金を受け取った人には、1月中旬～下旬にかけて、「令和6年分公的年金等の源泉徴収票」が日本年金機構から送られます。

これは、令和6年分として支払われた年金の金額や年金から差し引かれた所得税額などをお知らせするものです。

源泉徴収票は、所得税や復興特別所得税の確定申告などで必要ですので、大切に保管してください。なお、障害年金や遺族年金は非課税のため、源泉徴収票は送られません。

▷問い合わせ 八幡年金事務所 (☎631-7962)

## 消費者ホットニュース

### 無料で釣られて通ったら・・・ 高額なマッサージ機器を買う ハメに！

#### <事例>

近所の空き店舗に新しく入った店では、食料品などが安く売られており、食用油や食パン、ティッシュペーパーなどを無料で配っていた。「健康についての話」を面白おかしくスタッフが話し、とても楽しかった。友人を誘って毎日のように通い、店内にあるマッサージ機器で身体をほぐしていた。数か月経った頃「この店舗は、次の場所へ移動する」と言われ、仲良くなったスタッフとはもう会えないのだと寂しくなった。マッサージ機器をしきりに勧められ断り切れず契約してしまった。機器は100万円と高額だ。後悔している。

(60歳代、女性)

#### <アドバイス>

- このような商法は「展示会商法」「催眠商法」「SF商法」などと呼ばれています。
- スタッフに勧められるまま、意図せず契約してしまった場合はクーリング・オフの対象となります。
- 年末年始の契約は相談窓口が閉庁するため、トラブルに巻き込まれた際に相談できず、クーリング・オフの期間が経過してしまうリスクがあります。「年末年始の契約はしない」と決めてしまうことも大切です。

▷問い合わせ 芦屋町消費生活相談窓口  
(環境住宅課内☎223-3543)



### ●古印づくりと金文<sup>きんぶん</sup>

新人学芸員が、芦屋町の歴史を基  
本から探る不定期連載第2回をお  
届けします。

芦屋鋳物師講座の一つである「古  
印づくり」を紹介します。「古印」  
とは、古代の役所などで使われたき  
この形の印章のことです。

### ●錫<sup>すず</sup>の古印づくり

芦屋釜の里では、芦屋釜や芦屋鋳  
物に興味を持つ  
てもらうため、芦  
屋釜と同じよう  
な製作技法を体  
験できる錫の古  
印づくりなどの  
鋳物講座を開催  
しています。ま



錫の古印

た、町内の小中学校では、卒業記念  
で錫の古印を製作します。錫の古印  
づくりは芦屋釜の産地である芦屋  
町でしかできない体験です。

古印の印面に彫る漢字は、古代中  
国で金属に書かれた「金文」を推奨  
しています。

ここからは、約3000年前の中  
国で生まれた漢字がどのように変  
遷したか、その歴史を辿りながら、  
金文を紹介します。

### ●漢字の変遷

最古の漢字といわれているのは、  
殷時代後期（紀元前14〜前11世紀）  
から使われた甲骨文字<sup>こうぼうぶんじ</sup>です。亀の甲  
羅や牛の骨に占いの結果を刻んだ  
ことから、甲骨文字と呼ばれます。

甲骨文字に続いて登場する金文  
は、殷・周時代、青銅器に鋳込まれ  
た古代文字です。金文は、西周時  
代（前1045〜前771）に鼎  
（祭祀に使われた青銅器）に鋳込ま  
れたものが有名です。芦屋釜の里で  
は、京都市の泉屋博古館<sup>せんあきひろこくわん</sup>と共同で、  
これまで不明だった金文を鋳込む  
方法を研究しました。その結果、泥

水をつけた筆で鋳型に文字を書き、  
金属を流し込むことで、文字を青銅  
器に表したのではという新たな結  
論を出しました。この成果は、青銅  
器や書の研究者から大変な注目を  
集めています。

金文が盛んに使用された西周時  
代が終わり、春秋・戦国時代（前7  
0〜前221）に入ると、地域ごと  
にさまざまな文字が使われました。  
その後、中国を統一した秦（前22  
1〜前206）の始皇帝が文字の統

一を図り、作られたの  
が篆書<sup>せんしよ</sup>です。点画が複  
雑な篆書は次第に簡略  
化され、隸書<sup>れいしよ</sup>が登場し  
ます。隸書は、後漢時代  
（25〜220）になると  
公用文に使用されまし  
た。篆書・隸書は、現  
在でも印鑑などに使用  
されています。隸書が  
時代とともに変化し、  
私たちが普段使ってい  
る楷書<sup>がいしよ</sup>へと変化しまし  
た。

漢字の変遷をとおして、金文のこ  
とを調べてみましたが、いかががでし  
たか。鋳物講座は年間4回程度開催  
していますので、興味のある人は参  
加してください。



文字の変遷

（芦屋歴史の里）

## 編集後記

▼あけましておめでとうござい  
ます。今年も広報あしやをよろ  
しく願います。裏表紙に掲  
載している100歳のお祝いイ  
ンタビューで、永井さんから聞  
いた長寿十訓を皆さんに共有し  
たいと思います。「少肉多菜」肉  
よりサラダが主役。「少塩多酢」  
食塩を減らして酢を多く。「少糖  
多果」菓子よりも果物を。「少食  
多齋」腹八分でよくかむ。「少煩  
多眠」クヨクヨせずによく眠る。  
「少怒多笑」あまり怒らずいつも  
笑顔で。「少言多行」ブツブツ言  
わずに自分で実行。「少欲多施」  
自分のことより他人のために。  
「少衣多陽」太陽を浴びて薄着。  
「少車多歩」乗るより歩け。今年  
は長寿十訓を実行して、健康な  
一年にしたいです。（野中）

▼今号に特集しているあしや砂  
像展ですが、今年は大雨の影響  
により中止となりました。砂像  
は水と砂でできているため、繊  
細にできていることを改めて実  
感しました。あしや砂像展20  
24は音楽をテーマに制作さ  
れ、広報紙内では、崩れる前の作  
品を写真に収めていますので、  
見てください。（篠塚）

